

一麦出版社の新刊

◎ 4月22日発売

『主の晩餐の奥義』

—— ロバート・ブルースの説教

トーマス・F・トーランス*編

原田浩司*訳

定価2420 (本体2200 + 消費税)円

A5判・250頁

ISBN978-4-86325-165-6 C0016

主の晩餐にあずかる意味、目的、
その効果は何か？

宗教改革期に一大争点となった聖餐論

16世紀にセント・ジャイルズ教会の説教壇から

ブルース牧師が語った

聖餐をめぐる5篇の説教



〈著者紹介〉

トーマス F. トーランス

1913年中国の成都に生まれる。エディンバラ、オックスフォード、バーゼルで学んだ後、1940年スコットランド教会の牧師となる。1950年にエディンバラ大学で教会史の教授、1952年から組織神学の教授として活躍し、2007年に死去。著書多数。

〈訳者紹介〉

原田浩司 (HARADA Koji)

1973年群馬県生まれ。東北学院大学教養学部卒、東京神学大学院博士課程前期修了。日本基督教団富田林教会牧師を経て、英スコットランド自由教会大学留学。英グラスゴー大学より神学修士号 (M.Th.) 取得。2011年度より東北学院大学文学部総合人文学科助教、准教授を経て、現在は教授、および大学宗教部長、東北学院宗教センター主任を兼任。

著書：『スコットランド信仰告白』による信仰入門 歴史・本文・講解 (一麦出版社)、『苦難と救済』『福音とは何か』(共著、教文館)

訳書：ドナルド・K. マッキム『カルヴァンと共に祈る日々』、デヴィッド・ディクソン『長老—そのつとめと実践』、ドナルド・K. マッキム『宗教改革の問い、宗教改革の答え』、同『長老教会の問い、長老教会の答え2』、ルイス・B. ウィークス『長老教会の源泉』、ドナルド・マクラウド『長老教会の大切なつとめ』ほか多数。